

# 中央大学

国際情報学部 国際情報学科

この学科で学ぶこと

複雑かつ国際的に広がる情報社会の未来と課題解決のために、文系的思考、理系的思考の枠を超え、おのおのの専門性を融合する学びにより、社会に受容されるサービスや政策を実現できる人材を育成する。



大学情報 URL <https://www.chuo-u.ac.jp/>  
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1  
中央大学 入学センター  
TEL 042-674-2144

法学部	経済学部	商学部	理工学部
文学部	総合政策学部	国際経営学部	国際情報学部

資料請求



**国際情報学部の魅力はここ!**  
私たちが1期生になるので、「新しいことがいっぱいできる!」と思い、直感でこの学部を選びました。哲学や宗教学、心理学などのグローバルに通用する教養も幅広く学べるので、やりたいことが見つかりやすいと思います。

加島 はなさん  
国際情報学部 国際情報学科 2年  
埼玉県 私立 星野高校卒



**将来の夢は起業すること!**  
プログラミングと法律の両方を学べるのはココだけです! 社会に出たときに、人の上に立つことになる人材を育成する学部だと思います。将来は起業して、会社をつくるのが夢ですね。

高橋 蓮くん  
国際情報学部 国際情報学科 2年  
宮城県 私立 仙台育英学園高校卒

## Symbol

### グローバル人材の育成

#### 新たな混住型の国際教育寮を開設

中央大学のミッションは、グローバルな視野と実地応用の力を備え、人類の福祉に貢献する人材を育成することです。本学ではグローバル人材を育成するための環境として、2020年4月にオンキャンパスの新たな混住型の国際教育寮を開設しました。6個室1ユニットのルームシェア方式で、多様な文化背景を持つ学生たちが共同で生活をします。共有施設も充実しており、キッチン・ラウンジ・ホールのほか、各階にもコミュニケーションスペース(和室・シアタールームなど)があります。日本人学生・私費留学生・交換留学生が寮生活を通じて、国際感覚を醸成すると共に、互いに学びあう「成長」の場となるよう、寮のコンセプトは、「多様性に富む国際教育寮での生活や交流を通して、さまざまな文化背景を持つ学生達の多様な学びを促進すること」です。寮費は月々62,800円(水道・光熱費・ネット代込み、リネンレンタル費別途要)。住み込みの常駐管理人がいるため、セキュリティやサポート面も安心できます。



国際教育寮 外観

**私の学食 オススメメニュー**

学生食堂「ヒルトップ78」は4階建ての学食棟。栄養バランスも良く美味しいメニューがたくさんあります。中でもレストランコープ(1階)にある肉野菜炒め(税込500円)は、ワンコインでボリューム満点! 野菜もしっかりと取れる人気メニューです!



本日の講義  
5.15(水)  
at 市ヶ谷田町キャンパス  
10:50~12:30

## インターネット概論

この講義で学ぶこと

情報ネットワークの振る舞いの理解や制御の仕方といった「使える技術」習得のために、伝送経路を探るための演習、サブネットマスクの計算、ネームサーバーの操作、ネットワーク上を流れるパケットの分析などに取り組んでいく。

### 「情報の仕組み」を学ぶため身近なインフラとなったインターネットの基礎を習得

2019年4月、中央大学に新設されたのが国際情報学部(通称「iTL」)だ。工学系と法学系の学びが融合するこの学部では、「情報の仕組み」「情報の法学」「グローバル教養」を体系的に学んでいく。グローバル化時代における情報の諸問題を解決できる能力を4年間で身につけていくのだ。市ヶ谷駅に近接した市ヶ谷田町キャンパスでは、この新たな学部の基礎を

担う講義が4月からスタートしている。その中の一つが岡嶋裕史先生の「インターネット概論」だ。「インターネットが世の中に広まって、今や電気、ガス、水道のようなインフラに近い存在になりました。しかし、身近になったインターネットの仕組みがよくわからないまま使っているのは良くないことだと思います」と岡嶋先生は話す。「情報の仕組み」を学ぶ第一歩として、インターネットの基礎的な知識を習得する。それが1年生の必修科目となる、この講義の狙いだ。

## 情報の仕組み×情報の法学 新たな発想で問題を解決!

岡嶋 裕史先生に聞きました

Q 今日の講義は、10年後の社会でどのように役立っていますか?

A 将来、大局的な見地に立って重要な意思決定を行うとき、正しい判断を下すために、しっかりと技術を理解しておくことは必須事項です。また、新しい技術やサービスを立案するとき、それが社会にどのような影響を与えるかといった視点を持つことを狙っています。



### Profile

中央大学大学院総合政策研究科総合政策専攻博士後期課程修了。富士総合研究所、関東学院大学経済学部准教授、関東学院大学情報科学センター所長、中央大学総合政策学部准教授を経て、2019年から中央大学国際情報学部教授。近著に、「ブロックチェーン」(講談社)、「構造化するウェブ」(講談社)、「ビッグデータの罫」(新潮社)、「実践でわかるインターネット」(岩波書店)、「郵便と系電話でわかるインターネットのしくみ」(集英社)など

### これからは思考力が大事! 自分の頭で考える力を卒業までに身につけてほしい

「今日一番、大事なものはここです!」と岡嶋先生は強調した。先週から続く講義の内容は、ネットワークの階層について。第1層から第3層までは先週終わり、本日の中心は第4層のトランスポート層についてだ。「トランスポート層には、TCP、UDPなどのプロトコルがあります」

TCPは、コストをかけても信頼性を確保したい状況で使われるプロトコルで、「コネクション型通信」であること。またUDPは、信頼性よりも速度を重視する局面で選択するプロトコル

で、相手との接続確認なしでスタートする「コネクションレス型通信」である、と解説が続く。またそれぞれの利点と欠点を挙げたあと、岡嶋先生はこう語った。「TCPとUDPにはこのような利点と欠点がある、と講義なので書きました。しかし、技術の本質を理解していれば、わざわざ暗記しなくても思考によって導くことができます。そういう思考力がこれから大事になります。自分の頭で考えることをぜひ卒業するまでに、皆さんに身につけていただきたいと思っています」

今後、iTLから巣立った学生が、どのような分野で活躍していくのか。その鍵を握るのは、この講義に参加した1期生たちになるはずだ。



### 記者の目 中央大学はこんな大学

[LINE]の執行役員をゲストに招いて実務の最前線を伺う講義や、「bilibili」の社員によるVRの講義なども行われたとのこと。このように岡嶋先生の講義では、さまざまな企業の方のお話を直接聞けるため、幅広い知識を身につけることが期待できそうです。

\*講義は2019年に取材したものです。